



# Kiwi

# Report

第1号 2025/11/6

## ◆はじめに

あっという間の準備期間は過ぎ去り、中高生5名と引率2名による湧別町とセルウィン町の相互交流事業訪問団は、いよいよ出発の日を迎えることとなりました。この間学生たちは、通常の学校や部活動の合間を縫って、8回にわたる事前研修による挨拶や発表練習など、それぞれが前向きに取り組んできました。また出発式では、「文化や価値を共有したい」「自分の視野を広げたい」「コミュニケーション向上」「自然を体験したい」「友達を作りたい」など、それぞれが目標や抱負を述べてくれました。

準備万端(万端は言い過ぎかも)のメンバーは、着替えやお土産、不安と緊張感、楽しみと期待をスーツケースに詰め込み、パンパンの状態です。訪問団の様子をリアルタイムで伝えるため、スーツケースと頭の中がパンパン状態の引率者が随時レポートをお届けしていきます。

キウイレポートの登場人物を紹介します。今回の訪問団、主役の学生たちは、「YUMI」、「YUKI」、「RIN」の高校生3人と、「KENSHIN」、「KAEDE」の義務教育学校生(後期課程)2人、引率者は、団長の「KAZU」と私「SHIN」の計7名。英語を勉強中の学生と英語が苦手な引率者による9日間のニュージーランド(NZ)セルウィン町の滞在と、ダーフィールドハイスクール(DHS)やホームステイの体験記となります。

\* ファン(fun) VS ファン(不安)メーター、元気メーターについて \*

旅行中の訪問団の肌感を伝えるため、ファン(楽しみ)やわくわく感と不安や緊張感の割合や、元気さの度合いを、みんなから聞き取って平均し、ファン(fun)vs ファン(不安)メーター、元気メーターで表しています。

※聞き取りの際、引率者の主観が含まれる場合がありますがご容赦ください。

## ◆11月4日(火) 出発時の気温-3℃

\* ファン(fun)vs ファン(不安)メーター 45vs55、元気メーター 80% \* (みんなの平均値)

4日(火)朝7時、忘れ物のチェックやスーツケースの重量確認を終え、副町長からの激励を受けた訪問団は、たくさんの家族や学校の先生に見送られ、女満別空港行きの車に乗り込みました。氷点下の中女満別空港を定刻に出発し、羽田空港へ到着した訪問団。女満別からの機内は、仮眠を取ったり、音楽を聞いたりと



～湧別町出発～

リラックスした様子でしたが、この時点で緊張と楽しさの割合を聞いてみたところ、ある一人は緊張感70%、楽しさ30%と緊張感が上回る状態とのことでした。最初はみんな不安ですね、羽田空港からはリムジンバスに乗り換え、成田空港へ。ここまでは順調です！

成田空港では天候にも恵まれ、時間に余裕ができ、各自 NZドルへの換金もバッチリできました。

出発ロビーでは、誰もが名前を知る柔道のオリンピック選手がたまたま隣に座っており、みんな大喜び。さすが成田国際空港ですね！

成田でのチェックインは、1人ずつ自動機械で済ませることができ、保安検査、出国審査についても、流れ作業で、何の問題もなく気づいたら終わっていました。



～女満別空港出発～



～羽田空港で夕食～

しかしその後搭乗のときに問題が発生。飛行機の機材トラブルによる約1時間の出発遅れが生じ、搭乗前にそれぞれ軽食を購入することに。

成田を予定より約1時間遅れの20時に離陸し、機内食が出てきたのは、飛行が安定した21時50分でした。事前研修の成果を発揮し、ビーフかチキンかみんな好きなものを英語で注文できました。11時間のフライトは1時間遅れのまま、現地時間の翌朝午前10時半にオークランド空港に無事到着しました。



～オークランド到着～



◆11月5日（水）快晴 気温 20℃

～ まだまだ続く移動 ～

そこで待ち受けているのは、みんなにとって1番不安だった入国審査と税関。待ち時間は長かったものの、申告が必要な食品を7人が協力して答えるなど、意外にすんなりと通過！

ただ到着時間の遅れが響き、ここで現地ガイドさんと合流した時には、次のクライストチャーチ便の荷物預かりのリミットまで残り5分となってしまう、猛ダッシュ、、何とか定刻2分前に手続きを終えることができました。ギリギリセーフ。やれやれほっと一息ついて搭乗口で待っていたら、今度は出発便の約1時間の遅れ。できた時間を有効に使って、みんな初めてNZのカフェで英語で注文し、NZドルで支払いをしました。



～カフェでのんびり～

搭乗便は無事クライストチャーチ空港に到着。クライストチャーチの天気は快晴。気温は20度。みんなのテンションも上がります。現地で待ちわびた早川すみ先生とようやく対面。出発からここまで約29時間の道のりでした。ダーフィールドハイスクールまでは車で30分、羊が放牧されるのどかな風景を横目にすみ先生から生活の説明を受けた後、待ちに待ったホストファミリーとの対面を果たしました。

ここからみんなホストとの大切な時間が始まります。今までみんなの前向きに頑張ってくることができました。いよいよ明日は歓迎式での「パプリカ」披露に加え、表敬訪問での文化発表！練習した成果を存分に発揮してほしいです！

Keep positive!!

## ホストファミリーと対面！！

